

文化芸術交流事業概観

①日本紹介のための専門家派遣事業

アニメ、食、武道等日本の文化18分野の専門家60名を世界各地に派遣して、講演、デモンストレーション、ワークショップ等を実施しました(44カ国65都市、24件)。また、54件の助成を行いました。

②海外の文化人招へい事業

文化の諸分野において大きな影響力を持つ作家、アーティスト、学者等29名を23カ国から招へいし、日本の実情視察、関係専門家等との意見交換を行いました。

③文化芸術分野における国際協力

デジタル・アニメ制作や日本画制作における人材育成、文化財・歴史記録制作、遺跡保存・修復等に協力するため、6カ国に専門家派遣等4件の事業を実施しました。このほか、8件の助成を行いました。

④市民青少年交流

青少年問題に取り組む専門家グループを韓国へ派遣、また、文化交流の関係者をベトナムから招へいする等、市民青少年交流事業を主催で2件実施。また、国内の団体が実施または参加する、市民交流事業117件に助成しました。

⑤中学高校教員交流

52カ国から196名の中学・高校の教員を招へいし、日本各地で学校訪問、文化施設等の視察や交流を行いました。

⑥異文化理解ワークショップ

日本における異文化理解促進のための公開講座等を12件実施しました。

⑦開高健記念アジア作家講演会シリーズ

故開高健氏の遺族からの寄付金により、毎年アジアの作家を招へいし講演会を実施しています。2007年は中国の作家、李銳(リー・ルエイ)氏の講演会を国内4カ所(大阪、東京、仙台、函館)で行いました。

⑧国際美術展への参加

第52回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展に参加しました。

⑨海外展

海外や日本の美術館等との共催で、「美麗新世界」展(中国)「消失点-日本の現代美術」展(インド)、「アジアのキュビズム」展(フランス)、および「わざの美」展(英国)の計4件の企画展を実施しました。

また、「現代日本建築」、「現代日本デザイン100選」、「日本の新世代アーティスト」、武道の歴史と現在を紹介する「武道の精神」等、計18の展示セットを海外63カ国に巡回し、122件の展覧会を開催しました。

さらに、日本の美術・文化を紹介する展覧会40件に対して助成を行いました。

⑩国内展

『藤森建築と路上観察 第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展帰国展』(東京)を実施するとともに、これまで日本で紹介される機会の少なかった海外の優れた美術を紹介する展覧会10件に対して助成を行いました。

⑪造形美術情報交流

アジアの美術館のネットワーク構築を目的とした『アジア次世代美術館キュレーター会議』第3回会議をフィリピンで開催しました。また、日伯交流年を記念してサンパウロで開催される「江戸の工芸」展への協力を行いました。

⑫海外公演

ジャズ(塩谷哲グループ/東南アジア3カ国/日タイ修好120周年、日マレーシア国交樹立50周年)、津軽三味線(福居典美・福居一大/アジア2カ国/日印交流年、日インドネシア国交樹立50周年)、コンテンポラリーダンス(BATIK/欧州4カ国)、江戸糸操り人形(結城座/ブラジル/日伯交流年)等、のべ43カ国で22件の公演事業を実施しました。また舞台芸術や芸能の海外公演を行う日本の公演団体に対する経費の一部助成を89件(のべ154カ国)実施しました。

さらに、日本の優れた舞台芸術作品を紹介する米国の非営利団体を対象に、公募により助成を16件(PAJ(パフォーミング・アーツ・ジャパン)北米)、欧州に本拠を置くフェスティバル、プレゼンターを対象に11件(PAJ欧州)実施しました。

⑬国内公演

日本国内においてあまり知られていない国・地域の舞台芸術・芸能を、日本に紹介しています。アジア、中南米、中東等の舞台芸術訪日公演11件の助成を実施しました。また日本・インド・イラン・ウズベキスタンの舞台芸術家による共同制作等3件の共同制作公演を実施しました。

⑭舞台芸術情報交流

国内外の舞台芸術団体、プレゼンター、フェスティバル実施団体、劇場、地方公共団体間の情報交流促進を図るため、「東京芸術見本市2008」等、17件の情報交流事業を実施または支援しました。また、日本の舞台芸術情報を和文・英文で発信するウェブサイト「Performing Arts Network Japan」(<http://www.performingarts.jp/>)を運営したほか、英文ガイドブック『THEATER IN JAPAN』を発行しました。

⑮出版・翻訳(助成)

人文、社会科学および芸術分野の日本語で書かれた優れた図書の外国語への翻訳および外国語で書かれた図書の出版について助成しました(20カ国、56件)。

16 国際図書展参加

日本の出版文化の紹介と対日理解促進のため、海外で開催された12の国際図書展に参加しました。

17 テレビ番組交流促進

日本のテレビ番組の海外における放映を促進するため、海外の放送局に番組を提供しました。28カ国、28件実施しました。

18 映画・テレビ番組制作

海外における日本理解を促進するため、日本に関する映画およびテレビ番組等の制作費助成を、10件実施しました。

19 海外日本映画祭

海外で行われる日本映画上映事業への協力を行いました(55件主催、50件助成)。

20 国内映画祭

アジア・中東の映画を紹介する映画祭を実施し、関係映画人の招へい等も併せて実施。また、アジア映画理解講座および英語字幕付き日本映画上映会を実施しました(6件主催、9件助成)。

21 映像・出版情報交流

季刊誌 Japanese Book News を刊行。また、New Cinema from Japan をユニジャパンと共同で発行しました。



22 国際交流基金ボランティア(文化交流企画運営補助)

諸外国における日本との国際文化交流のニーズと、日本国民のボランティアのニーズを基金が仲介し、日本に関する総合的文化事業運営を実施している海外の団体で補助業務を行うボランティアを公募・人選のうえ、派遣しました。

2007年度文化人短期招へい一覧

| | 国名 | 時期 | 被招へい者 | 現職 |
|---------|-----------------------------------|--|--|--|
| アジア・大洋州 | 韓国 | 2008.3.2-2008.3.12 | KIM Hoon (キム・フン) | 作家 |
| | モンゴル | 2007.10.3-2007.10.17 | RINCHIN Ganbat (リンチン・ガンバト) | 作家 |
| | インドネシア | 2008.3.4-2008.3.16 | Amuna KUSUMO (アムナ・クスモ) | クローラ財団ディレクター |
| | マレーシア | 2007.10.2-2007.10.16 | Roslisham BIN ISMAIL (ロスリシャム・ビン・イズマイル) | 現代美術家 |
| | タイ | 2007.8.20-2007.8.26 | Arak SUNGHITAKUN (アーラック・サンヒタクン) | タイ文化省芸術局長 |
| | フィリピン | 2007.5.18-2007.6.1 | YAMAMOTO Michiko (ヤマモト・ミチコ) | ufoピクチャーズプロデューサー、脚本家 |
| | インド | 2008.3.1-2008.3.9 | Narendra JADHAV (ナレンダラ・ジャダヴ) | ブーネ大学副学長 |
| | オーストラリア | 2007.12.5-2007.12.18 2007.11.23-2007.12.2 | John Maxwell COETZEE (ジョン・マクスウェル・クッツェー) Jeanette HACKETT (ジャネット・ハケット) | 作家、アデレード大学名誉研究員 カーティン工科大学副理事長兼学長 |
| 米州 | カナダ | 2008.1.22-2008.2.2 | Chris ROBINSON (クリス・ロビンソン) | オタワ・アニメーション国際フェスティバル芸術監督 |
| 中南米 | ドミニカ共和国 | 2007.10.2-2007.10.21 | Fernando Enrique UREÑA RIB (フェルナンド・エンリケ・ウレニャ・リブ) | 画家、彫刻家、作家 |
| | ホンジュラス | 2007.11.1-2007.11.15 | Dario Aquiles ERAQUE (ダリオ・アキレス・エウラケ) | ホンジュラス国立人類学歴史学研究所所長 |
| | グアテマラ | 2007.10.23-2007.11.4 | Rodrigo REY ROSA (ロドリゴ・レイ・ロサ) | 作家 |
| | ブラジル | 2007.11.11-2007.11.19 | Ana Paula PADRAO MUNDELL (アナ・パウラ・パドロン・ムンデル) | ブラジル・テレビ・システム・アンカー兼編集長 |
| | | 2007.12.1-2007.12.15 | Marcelo CARNEIRO DA CUHNA (マルセーロ・カルネイロ・ダ・クーニャ) | 作家 |
| | ベネズエラ | 2008.3.20-2008.3.25 | José Antonio ABREU (ホセ・アントニオ・アブレウ) | ベネズエラ青少年児童交響楽団代表 |
| | ペルー | 2008.3.3-2008.3.14 | Ricardo Martin TANAKA GONDO (リカルド・マーティン・タナカ・ゴンドウ) | ペルー問題研究所前所長 |
| コロンビア | 2008.2.13-2008.2.27 | Diana URIBE (ディアナ・ウリベ) | 歴史家、ジャーナリスト | |
| 欧州 | ドイツ | 2007.10.29-2007.11.11 | Doris KRYSTOF (ドリス・クリストフ) | デュッセルドルフK21ノルトライン・ウェストファーレン州立美術館学芸員 |
| | フランス | 2008.2.23-2008.3.2 | Michael CHASE (マイケル・チェイズ) | パリ市立劇場総務代表 |
| | ベラルーシ | 2007.10.21-2007.10.27 | Raman MATULSKI (ロマン・モトゥリスキー) | ベラルーシ国立中央図書館館長 |
| | クロアチア | 2008.2.21-2008.3.6 | Zoran MARIC (ゾラン・マリッチ) | NPOマルチ・カルチャー所属コンサート・プロモーター |
| | トルコ | 2008.1.15-2008.1.25 | Bagci HUSEYIN (バージュ・フセイン) | 中東工科大学経済行政学部国際関係学科 |
| 中東・アフリカ | ケニア | 2007.7.1-2007.7.15 | Godfrey MWAMPEMBWA (ゴドフリー・ムワムペムブワ) | ネーション・メディア・グループ所属政治風刺漫画家 |
| | タンザニア | 2007.9.1-2007.9.17 | Hermas J.M. MWANSOKO (ヘルマス・ムワンソコ) | タンザニア情報・文化・スポーツ省文化局長 |
| アジア・大洋州 | オーストラリア インド フィリピン インドネシア | 2007.11.15-2007.11.29 | アジア大洋州映画祭関係者グループ(4名) David Andrew Cowper ROSE (デイヴィッド・アンドリュー・カウパー・ローズ) Maria Shai HEREDIA (マリア・シャイ・ヘレディア) Joselito Villanueva ACOSTA (ホセリート・ヴィリャヌエヴァ・アコスタ) Lisabona RAHMAN (リザボナ・ラーマン) | ブリスベン国際映画祭フェスティバル・ディレクター エクスペリメンタ国際実験映画祭ディレクター シネマニラ国際映画祭国際部門プログラマー インドネシア芸術評議会キネフォーラム・プログラム・マネージャー |